



WordCamp Ogijima 2018

スライド作成のチェックポイント

スピーカーの皆様へ



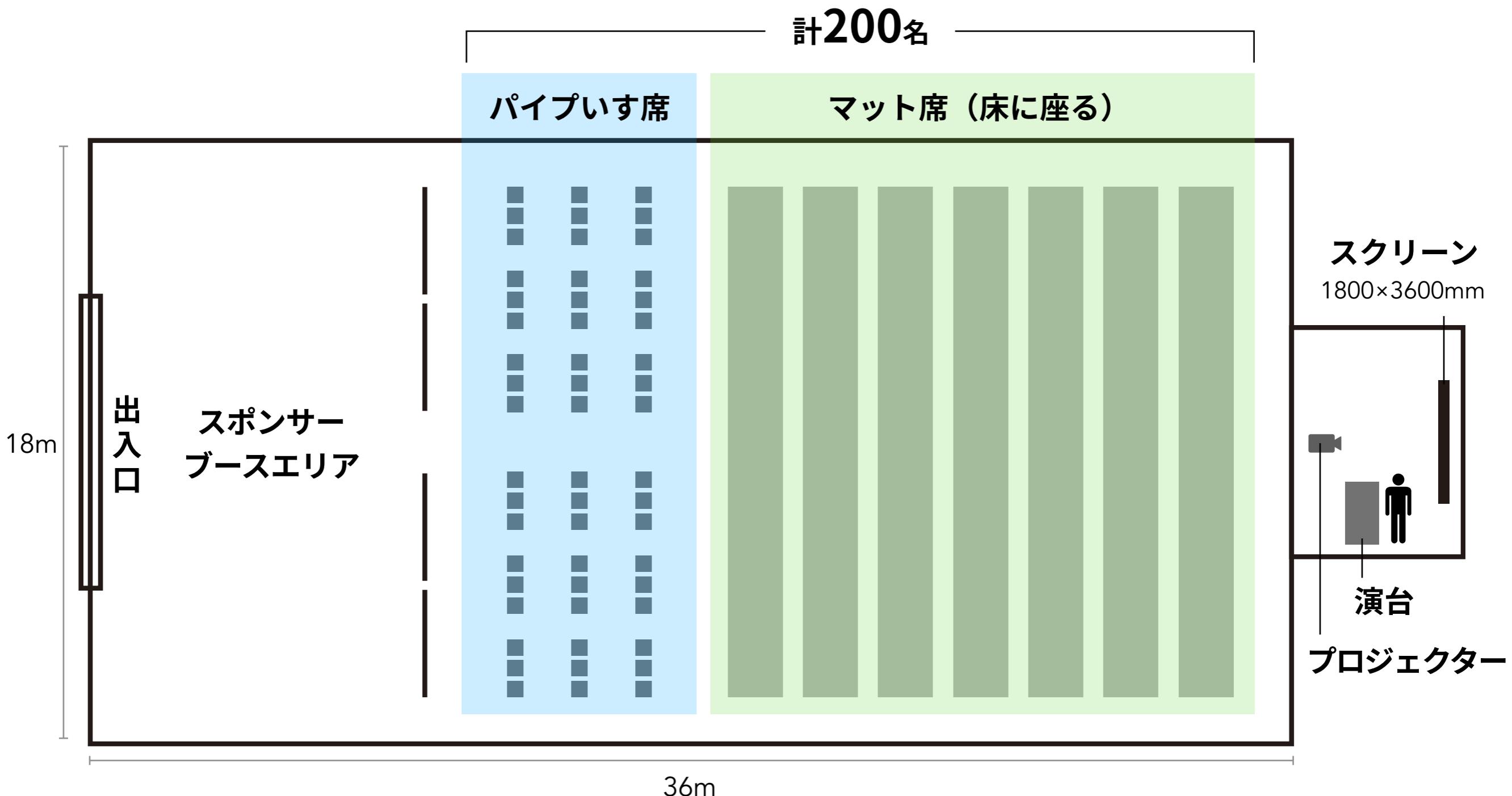
photo by Yamato Fukui

今回の会場：男木島小中学校体育館

風通し確保のために自然光が入ります

会場レイアウト

(2018.6.15 暫定)



スライド作成時のお願い

広くて自然光の入る会場、スクリーンは前方に1つ、夏の暑い体育館…



- ・文字は大きく読みやすく
- ・コントラストを強く
- ・認知的負荷を下げる

＼パッと見てわかる／

くっきり・はっきり なスライドづくりにご協力お願いします

基本フォーマット

- ・ **スライド比率 = 16：9（推奨）**
※4：3 でも問題なく表示可能です
(参考) プロジェクタの最大解像度は 1920×1200 です
- ・ **スライド1枚目(セッションタイトル前)に
カバースライドを挿入してください**

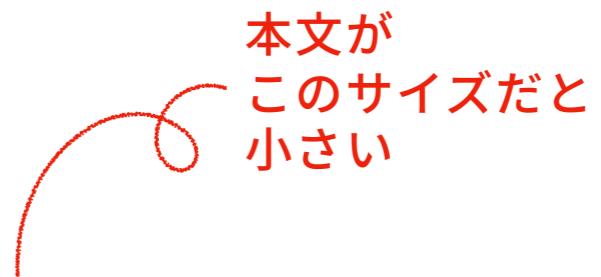
セッション転換時に投影するための共通スライドです。
カバースライド用の画像は後日共有します。

文字サイズ・太さ

・ 文字はなるべく大きく

図版中の文字を含め、文字サイズはなるべく大きくお願いします。

無理に1枚のスライドに詰め込まずにページを分ける、簡潔な言い回しにするなど
スライドあたりの文字数を少なくする方法をご検討ください。



・ 太い文字・細い文字は要注意

太すぎる文字を本文に用いると、文字がつぶれて読みづらくなる恐れがあります。
極端に太い文字や細い文字は見出しや扉などのポイント使いにとどめ、
十分なサイズとコントラストを確保してください。

行間・改行

- **行間は適切に**

行間が詰まりすぎてもアキすぎても
文章が読みづらくなります。

詰まりすぎ

行間が詰まりすぎてもアキすぎても

文章が読みづらくなります。

アキすぎ

- **改行は意味の区切りで**

文章が複数行になる場合は、自動改行ではなく、単語や文節など意味の区切りで改行すると内容を把握しやすくなります。



文章が複数行になる場合は、自動改行ではなく、単語や文節など意味の区切りで改行すると内容を把握しやすくなります。

コントラスト

- ・文字色と背景色のコントラストを強く

基本の文字色と背景色のコントラスト比は 7:1 以上を推奨します。

チェックツール例：<http://contrast-ratio.com/>

コントラスト比

18.28

背景色 #0C1136
文字色 #FFFFFF

バッチャリOK !

コントラスト比

3.95

背景色 #4484C0
文字色 #FFFFFF

良さそうに見えて意外とNG...

コントラスト比

2.38

背景色 #FFFFFF
文字色 #90B44B

コントラスト比

6.92

背景色 #D8EEF6
文字色 #4E4E4E

ギリギリNG

※微妙な色のニュアンスは会場では再現しきれないので、ギリギリよりバッチャリOKをお願いします！



写真に文字を重ねる表現は
今回は おすすめしません

写真も文字も見えづらくなってしまう可能性があります

画像と文字を大きく印象づけたい場合は

色ベタを敷く

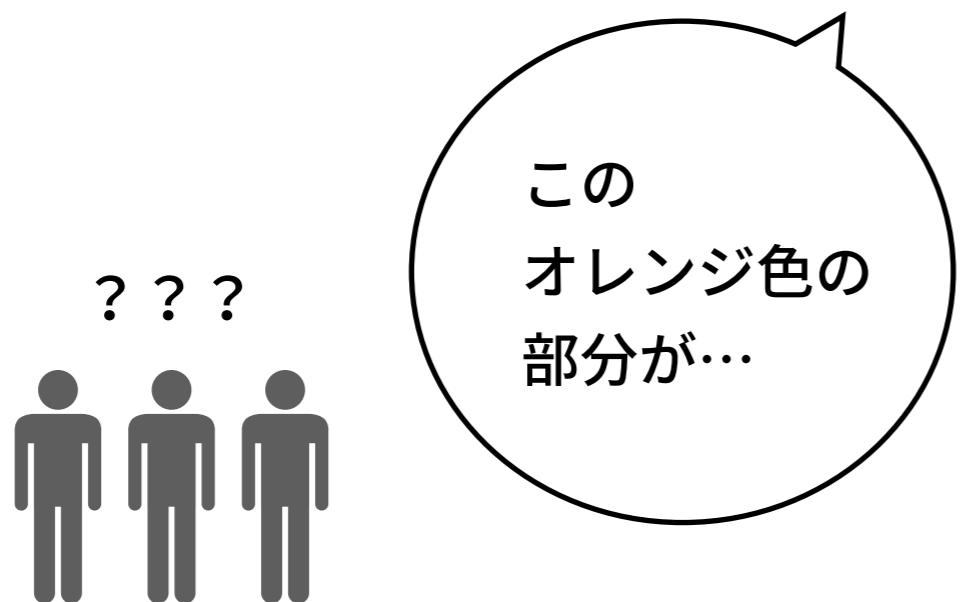
テキストエリアと
画像を分ける

等をお試しください

色

・ 色以外でも情報が伝わるように

グラフや図解などで色を複数使う場合は
テキストや形、パターン、動きを加えるなど
色以外でも情報が伝わるように
準備しておくと安心です。



その他

- ・ **やさしい日本語で**

略語を使いすぎず、漢字はほどよくひらきましょう。

- ・ **表記揺れ・誤字脱字のチェック**

聴く人の集中力を削ぐ要因は排除しておきましょう。

- ・ **スライド下部に重要な要素を置かない**

「前の人の頭部で隠れて見えない…」を防ぐために。